

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アドベンチスト福祉会 ベーテルの夢Ⅱ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人・事業所の経営理念、支援者のニーズに沿って、支援計画や方向性について、職員間で密に情報共有を行い、チームで支援を行っていること。 (保育士、教諭・養護教諭経験者、社会福祉士、公認心理士、専門講師（助産師【性教育】、歯科衛生士【歯科指導】、運動【運動支援】、音楽【リトミック】、キャリア教育）	・職員間での交流を大切にし、適宜会議を行っている。 ・専門的な視点から児童の支援を行い、児童の豊かな育ちを支え、その児童の強みを引き上げることができるようチームでの共有を大切にしている。	・PDCAの視点から、支援計画を定期的に見直し、さらなる充実を図る。
2	・自然の中での活動を積極的に行うことで、人と環境の相互作用による豊かな育み、多様な実体験を意図して行っていること。	・自然の中で自ら楽しみを見つけて遊べるように畑での炊き出しや焼き芋など、こどもが創造し、集中して遊ぶことを支援している。 ・工芸・いちご狩り・カフェ体験・料理体験（食育）などさまざまな体験を提供している。	・今後も児童が興味・関心をもてるような楽しめる活動を企画する。
3	・保護者との良い関係性。	・送迎時など児童の様子を保護者に伝えることをはじめ、会えない時でも、SNSを活用して保護者に対する丁寧な情報共有を意識的に行っている。 (学校での様子・事業所での様子) ・保護者に児童の成長や強みについて積極的に伝えている。	・事業所での様子をホームページやSNSを活用して写真など保護者に送信することをさらに充実させる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・第三者評価の未実施。	・第三者評価に至るための事業所の体系的な取り組みが課題。	・引き続き、業務マニュアルの作成・修正など第三者に対する言語化の充実に務める。
2	・事故防止や緊急時対応、防犯対応について保護者への周知が不十分。(防犯や火災訓練の年2回の実態報告についてが不十分。)	・保護者向けの情報発信のためのマンパワー不足や意識不足が考えられる。	・保護者が安心して事業所に預けることができるように安心・安全の見える化について、工夫し発信できるように努める。(SNSやWEB上での発信を行う)
3			